

特別委員会委員長報告

●環境施設建設特別委員会

調査項目－高浜クリーンセンターの建設及び関連する施設の整備

建設工事が本格化する中、令和6年度の完成に向けて着実に事業が実施されるよう、事業費や進捗状況について確認した。安全かつ適正な処理を継続的に実施できる施設にしていきたい。

●防災・危機管理対策特別委員会

調査項目－安心・安全なまちづくりに向けた防災対策や危機管理体制

災害時電話・FAXサービスの導入や、新町地域と吉井町中島地区への排水施設の整備など、近年激甚化する災害への備えが進んでいる。今後も地域防災への支援を一層強化していきたい。

●都市集客施設整備特別委員会

調査項目－高崎市都市集客施設基本計画に基づく整備及び労使会館建設事業

再開発事業での新たな計画について協議するとともに、体育館機能が追加される労使会館の設計概要を確認した。今後も議論を重ね、市民の誇りとなるような施設にしていきたい。

●子育て支援・定住人口増加対策特別委員会

調査項目－子どもと子育てに優しい住みやすいまちづくりに向けた子育て支援・定住人口増加対策

ヤングケアラーSOSの創設に当たり、実態の把握方法などを議論した。子育て支援に加え、移住・定住を促進する事業を充実させ、本市の魅力を発信することで定住人口の増加につなげていきたい。

さらに詳しい内容は会議録で

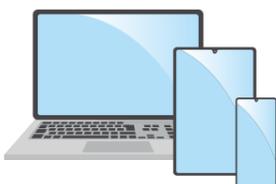
市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。

今回の本会議については6月上旬に公開予定です。

- 市民情報センター（市役所1階）

- 高崎市立図書館（中央館及び地域館）

- 倉淵公民館図書室



新年度議案への討論

賛成

●「新しい高崎」の実現に向けて（新風会）

歳入の骨幹である市民税、固定資産税共に増額を見込んでいることは、本市が市内経済の活性化に取り組んできた成果である。また新たに高齢者力仕事SOS事業など、さらなる成長、発展に向けた多くの事業が提案されている予算編成に賛成する。

賛成

●背伸びをしていない予算編成（市民クラブ）

障害者農業就労施設の整備など、独自の事業を評価するとともに、国の交付金も活用し、本市の実態に合った予算編成としたことに賛成する。

賛成

●本市のさらなる発展と市民福祉向上（公明党）

医療的ケア児の教育環境整備や、高校生世代までの医療費無料化など、全国トップクラスの子育て環境の充実につながる取り組みを評価する。

反対

●学校給食費の無料化を（日本共産党）

学校給食費の無料化が反映されていない予算編成に反対し、市民が求める子育て支援として、無料化を早期に決断することを求める。

同意した人事案件

●固定資産評価審査委員会委員

はとり 武久氏

●人権擁護委員候補者

えぼら 章博氏

かめだ しんや氏

さげはし まりこ氏

かとう ひろこ氏

こうま さとし氏

しまざき けんじ氏

うめき まもる氏

梅木 守氏

委員会審査

総務常任委員会

質疑 ふるさと納税について、令和5年度に向けての本市の考えは。

答弁 本市のような都市部はふるさと納税制度に弱いとされているが、今後も地場産品を全国の人に知ってもらうため、返礼品の新規開拓を進めるとともに、本市を取り扱うポータルサイトを増やすなど、PRをしていく必要があると考えている。

質疑 令和5年度の榛名湖アーティスト・レジデンス運営事業の予算が令和4年度より増額した理由は。

答弁 榛名湖アーティスト・レジデンスの建物は、建設から50年以上が経過して老朽化が進み、雨漏りや水道管の腐食などが見られることから、各所の改修工事を行うため増額したものである。

市民経済常任委員会

質疑 令和5年4月から実施する高校生世代の医療費無料化の財源は。

答弁 高校生世代の医療費無料化に係る経費は、これまで実施している中学生までの医療費助成と異なり、県の補助金の対象外であるため、全額市の負担となる。

質疑 最終処分場次期候補地選定調査委託料の内容は。

答弁 現在の最終処分場であるエコパーク榛名は、補強工事により令和15年度まで埋め立て期間の延長が可能となったが、最終処分場は候補地の検討から供用開始までに長い期間を要する事例もあるため、次の候補地選定の準備として調査を実施するものである。



エコパーク榛名

環境施設建設特別委員会

質疑 高浜クリーンセンターの外柵等工事の内容は。

答弁 新施設の外周に、門扉やフェンス、ガードレール等を設置するもので、令和5年度は主に設計を行い、令和6年度に着工する予定である。



建設中の高浜クリーンセンター

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。

質疑・答弁の一部を掲載します。

教育福祉常任委員会

質疑 次世代育成支援対策施設整備交付金の内容は。

答弁 当該交付金は児童福祉施設の新設や修理等に対する国の交付金で、児童相談所建設工事のうち、一時保護所の整備に対して交付を受けるものである。

質疑 保育士情報ステーション（仮称）の事業内容は。

答弁 保育士確保策の一環として、専用窓口を設置し、市内の保育施設等の求人情報の提供や就労後の悩み相談などを行うものであり、令和5年6月に開設予定である。

質疑 おとしよりぐるりんタクシーの新規ルートとして長野地区を選定した理由は。

答弁 おとしよりぐるりんタクシーが運行していない地区の中で最も高齢化率が高いことや、地区内の公共交通の現状、大型スーパーがないことを背景に選定した。

建設水道常任委員会

質疑 連雀町地区優良建築物等整備事業の概要は。

答弁 連雀町のスクランブル交差点の北西角地のビルが対象で、連雀町地区の複数の地権者が敷地を共有化し、建物を整備することで高度利用を図る事業である。主な用途としては、住宅や子育て支援施設等のテナントのほか、駐車場等を整備する計画である。

質疑 烏川2号緑地根小屋エリア基本構想策定委託料の委託内容は。

答弁 烏川2号緑地根小屋エリアでのスポーツゾーンを含む緑地の整備に向け、施設配置等の基本構想を策定するものである。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 新たな労使会館の屋上に設置する太陽光パネルの発電量は。また、発電した電力の活用方法は。

答弁 年間約5万8,000キロワット時の発電量が見込まれる。この発電量は建物全体で消費する電力の約20%に当たり、施設で使用する電力の一部として活用していく。